

せ ん ぼ 通信 No.124

ば・あ・や・の・う・け・う・り

「新年」

機械の中でクルクル回っている真っ白な餅、もう少しかな…と、じーっと眺めていたら、心の中の何かがすーっと消えていった…不思議な感じに。霧が晴れて、自分の良くない心がはっきり見えてきて、やっぱりダメなのは私だった…と。

その後日…加藤登紀子さんの記事…

【 「1年に終わりがあるのは、
新しい時間を始めるため」

心の中で砂時計をひっくり返せば、勢いよく砂が走り出す。颯爽(さっそう)とピカピカの新年を迎えてください！ 】

あ、そういうことか…餅つきが私の心の中の砂時計をひっくり返してくれた…ってこと。

年末は、大掃除から始まりやることがいっぱい…そのひとつひとつをやることで、砂時計をひっくり返すように気持ちがりセットされて、清々しい心で新年を迎える準備が進みます。大晦日は、一番大きな砂時計なのですね。

一年中…季節ごとに行事がありますが、心の中で砂時計をひっくり返しながらか…節目節目を…今年も楽しみましょう。

鏡餅去年(こそ)よりうまく丸めたり

「おめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。山本不動尊まで行ってきました」と、元日の9時半頃M家の皆さん。

えーもう棚倉まで行ってきたの？「はいー！」と満面の笑みで…。朝6時に出かけて…もう30年も続けている初詣…と。

孫ちゃんと3世代で、ピカピカの新年を迎えられて良かったね。

「氏神…稻荷様にお供えするお酒を買いに来ました。自分が飲んだ酒でなくて、新しいのでなくちゃと思ってね…やっぱり」と、こちら満面の笑みのK君。前山の中にある氏神様だそうです。

皆さんそれぞれに、敬う神様や仏様があって、手を合わせて祈る後ろ姿は美しいものですね。

新年の祝詞おごそか神棚へ

2025年 明けましておめでとうございます
今年もよろしくお願い致します

昨年11月中頃、ピースの真緑の小さなツボミ1個に気づきビックリ…冬咲くのは初めてだったので、あら…寒さに向かうのに大丈夫？。でも、「だいじょうぶよ…」と言うように、少しずつツボミを開き花色を出してきた。吹雪のなかでも揺れながら頑張っている…小さくて弱っちいようでも。自然界のパワーを想いながら…徐々に白ワインをゴクン…ほろ酔いに。



初晴れやしジユウカラ2羽飛び立ちて



大王松・広司さん



ありがとうございます

花器・星先生
南天・梅・たけ子さん

〒963-1245 郡山市田村町柝山神字千穂128 TEL: 024-975-2415 FAX: 024-975-2466

2025・1・1

遠藤商店

編集: ミサ子 mail:kaikuu-0305@docomo.ne.jp